

広島県の新型コロナウイルス感染症の状況にかかる評価と提言

1 県内の感染状況と感染レベルの判断について

(1) 感染状況について

- 県内の新規報告者数は第8波が収束し、下げ止まりの状態が継続しており、県全体の直近1週間の新規報告者数（人口10万対）は4月18日時点で61.3人であるが、前週比1を下回る状況が4日継続しており、減少傾向にある。
- 医療提供体制については、入院患者数は4月18日時点で77人であり、同日時点の確保病床使用率は12.4%、確保重症病床使用率は5.7%と低い水準にある。

(2) 感染レベルについて

- これらのことから、現在の広島県の感染状況等の評価は、感染小康期に当たる「レベル1」の状態を継続していると判断する。
- 今後は、定点把握に変更することから、流行のレベルを客観的に判断できるような情報を提供する必要がある。

2 5類感染症への移行後（以下「5類移行後」という。）の必要な対策について

(1) 自治体における対応

- 県においては、5類移行後も、ゴールデンウィークや年末年始などで接触機会の増加等に伴う感染拡大により医療のひっ迫が懸念されるが、感染拡大防止と社会経済活動の両立ができるよう、引き続き取組の継続を図ることが求められる。
- 医療のひっ迫を回避するため、5類移行前に医師会など関係団体を通じて5類移行に伴う対応の変更点を丁寧に説明し、医療機関、高齢者施設等関係機関に混乱が生じないよう理解を得る必要がある。
- また、日常における基本的感染対策について、現在の法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく仕組みから、今後は、個人の選択を尊重し、国民の自主的な取組をベースとしたものに大きく変わることから、個人や事業者の判断に資するような情報の提供や丁寧な周知を行う必要がある。

(2) 医療機関・高齢者施設への対応

- 医療機関に対しては、新型コロナウイルス感染症にこれまで対応してきた医療機関に引き続き対応を求めるとともに、新たな医療機関に参画を促し、インフル

エンザ患者と同様に、幅広い医療機関で入院を受け入れ、また、医療機関間で入院調整を行う体制整備の推進を行う必要がある。

更に、コロナ感染者の外来診療をすべての医療機関で行うことが重要であることから、各医療機関や関係団体の協力を得ながら、進める必要がある。

- 今後、医療機関における安全性だけでなく効率性も考慮した感染対策への見直しや設備整備等の支援、応招義務の考え方、感染対策に関する分かりやすい啓発資料等の周知などを通じて、対応する医療機関の維持・拡大を図る必要がある。
- また、重症化リスクの高い高齢者層に対しては、ワクチン接種を推奨するとともに、陽性者が確認された高齢者施設等に対して、要請に応じ、速やかに感染制御や往診等の支援ができる体制を確保すること、併せて、高齢者施設等職員への感染対策についてのスタッフ教育等、引き続き、重点を置いた対策が求められる。

(3) 事業所・学校への対応

- 公共交通機関やタクシー事業者に対しても、乗車拒否を行わないよう関係団体を通じて個々の事業者に対して理解を得る必要がある。
- 感染が急拡大している時期には、事業者に対して、テレワークや時差出勤等の更なる推進や、会議、イベント等、人が集まる場面での感染対策の徹底を改めて呼び掛ける必要がある。
- 教育委員会等と連携し、学校の出席停止期間について、インフルエンザと同じ「発症後5日間」であること、また、その後も一定期間はマスクの着用を呼び掛ける必要がある。

(4) 県民への周知・協力依頼

- 県民に対しては、5類移行後も感染のリスクは変わらないことから、引き続き、手洗い等の手指衛生や換気が有効であることや状況に応じたマスク着用などの自主的な判断や取組により対策を講じることが重要であることを繰り返し呼び掛けるなど、分かりやすく丁寧な周知を行う必要がある。
- また、感染者においては、県や市町のコロナに関するホームページを療養の参考にするように引き続き呼びかけていくことが重要である。

(5) ワクチン接種

- 今後、ワクチン接種及び感染による免疫の期間経過による減衰等が感染状況に与える影響と併せ、変異株の置き換わりなどにも注視するとともに、ワクチンの有効性・安全性に関する情報発信に合わせて、ワクチン接種は特例臨時接種であり、無料で接種できることを引き続き広報していく必要がある。

(6) その他

- 新たなパンデミックに備え、定点把握による患者の発生動向やゲノムサーベイランスによる変異株の動向の監視を継続する必要がある。
- これらの対策を講じてもなお感染拡大が継続した場合には、救急体制をはじめとした医療の機能不全等を未然に防止するため、ただちに必要な対策を講じる必要がある。
- また、新型コロナウイルス感染症の罹患後症状についての必要な医療を提供していく必要がある。